

THE RECORD'91

1991
No.480

- アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラム開催
- 第9回国際レコード技術会議開催
- 第6回日本プロ録音賞授賞対象作品決まる
- 統計資料—CDのジャンル別新譜数の推移

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

著作権フォーラム

アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラム開催

当協会は、去る10月7日、著作権法100年記念行事の一環として、文化庁の後援の下「アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラム」を開催しました。

このフォーラムは、日本国内の関係省庁、関係団体、著作権に関わる専門家の方々をはじめ、海外からは、ロンドンに本部を置くIFPI（国際レコード産業連盟）の会長、RIAA（米・レコード協会）の副会長、そして多くのアジア／太平洋地域のレコード産業関係者の参加を得ることができました。

フォーラムは、当協会の池口会長から「著作権法100年を祝うとともに、デジタル環境の中で音楽の健全な基盤維持のために、バランスのとれた権利基盤確保と技術発展が必要であり、そのためには新しい時代に向かう協調関係が拡大されることを望む」旨の挨拶で始まりました。

引き続き、文化庁長官官房山元審議官から「科学技術の発展に対応する著作権保護を、法制面と技術的手段によって推進することが重要で、権利侵害の危険性に対するセキュリティ技術の確立が望まれる。法制面では、国際調和に向け、アジア／太平洋地域の著作権法の水準が益々向上することを期待する」旨の挨拶がありました。このフォーラムでは、音楽関係者に特に関わりが深い著作権問題と新しい技術をテーマに採り上げ、講演・プレゼンテーション・質疑と意見交換が行われました。

＜法改正状況の講演＞

フォーラム本編の第1部では、文化庁長官官房石野国際著作権課長から、日本におけるWIPO条約批准のための法改正に関する解説が行われ、海外からの参加者の理解を深めることができました。

引き続き、WIPO条約関係の法整備状況について、オーストラリア、韓国、マレーシア、シンガポールのレコード産業代表者から報告があり、それぞれの国の状況を把握するための好機となりました。

＜新技術の紹介＞

このパートでは、SACD（スーパー・オーディオCD）、DVD-A（DVDオーディオ）、メモリー・スティック・ウォークマンについて、それぞれの開発会社の担当者からプレゼンテーションがあり、それぞれの製品の特徴が解説されました。

その後、デジタル・ネットワーク環境における権利保護を推進するプロジェクト「SDMI（Secure Digital Music Initiative）」について、その発足以来の経緯と現状を当協会北村技術部長が解説しました。

特に新製品の紹介について、IFPIのバーマン会長は、「全てのプレゼンテーションは著作権保護手段に触れられており、これは権利保護の重要性が認知されたこととして歓迎する」とのコメントを加えています。



フォーラムで挨拶する池口会長

＜質疑、意見交換＞

新しい技術仕様と保護技術、日本の改正法の解釈と運用、各国の新しい法制度における可能な権利保護等について、積極的な質疑と意見交換が行われました。

＜声明の発表＞

フォーラムにおける成果として、当協会池口会長が、声明を読み上げ、満場一致で採択されて、この日のフォーラムは終了しました。

＜パーティ＞

フォーラム終了後、参加者の懇親を深めるとともに、著作権法100年を記念し、海外から参加した方々を歓迎するため、パーティが開催されました。

このパーティは、当協会池口会長、文化庁林田長官の挨拶に引き続き、IFPIバーマン会長の乾杯発声で始まり、多くの国会議員の方々も参加されて、終始和やかな雰囲気の中で進められました。



パーティで乾杯の挨拶をするバーマンIFPI会長

第9回 国際レコード技術会議報告

第9回国際レコード技術会議開催

IFPI、RIAA、当協会の各技術委員会が合同で毎年開催している国際レコード技術会議は、今年で9回目となります。去る10月17、18日の2日間にわたり赤坂の冰川会館で開催されました。当初の日程（10月6、7日）が急遽変更になったため、参加者減の心配がありましたが、ほぼ予定通りの参加がありました。

IFPIからはグリーン委員長はじめ4名、RIAAからはデビットソン委員長以下5名、当協会からは富塚委員長はじめ13名、事務局および通訳など総勢36名の参加となりました。

富塚委員長が議長を努め、海賊対策やSDMIなどについて活発な意見交換が行なわれました。主な議題は次のとおりです。

・海賊対策

IFPIより新しい海賊対策が紹介されました。ディスク、パッケージに対する対策およびSDMIにも適用できるマスタリングに対する対策に大別されます。

①対ディスク—現行SIDコードの適用とドリフトディスクの導入

②対パッケージ—セキュリティ紙、糸、セキュリティ印刷、紫外線印刷など

③対マスタリング—海賊音源の排除（ISRC使用、SDMIフェーズ2にも対応）

また、CD-Rでアルミの反射膜を使うものがあり、プレス商品との識別が難しいという報告がありました。

・SDMI

RIAAよりSDMIの最新情報の報告がありました。また、フェーズ2スクリーニング技術のうち、CDからのリッピングに対しIDトラックという新しい方法を利用する提案がありました。

・ASID（Audio Software Information Delivery）

デジタルインターフェース上にソフト情報を乗せる提案であり、提案元は当協会ですが、RIAAから改定案が出されています。RIAAよりIEEE1394TAに両案併記のかたちで正式提案することで合意されました。

・IEC958

現行デジタルインターフェースIEC958の改訂に関する報告がありました。まず当協会から上記ASIDを盛り込む改定案が紹介され、続いて当協会からDVDオーディオ規格策定時に議論のあったダウンサンプリング禁

止に関連するもので、サンプリング周波数（Fs）を変更した場合のオリジナルFs伝送の提案が紹介されました。

・コピープロテクト

エムダス社から圧縮音質を劣化させる技術（アクチュエーター）の紹介とデモが行われました。本件は当技術委員会で以前レポートした複製禁止技術の一つとなっています。

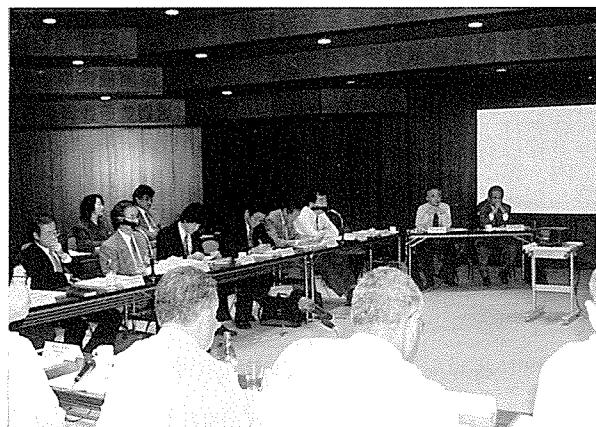
・RFID（Radio Frequency Identification）

日本コロムビア社から通産省の実証実験として行っているRFIDの紹介とデモが行われました。ディスクに埋め込んだICチップに権利者情報を書き込み、著作権管理に利用するとともに、新しいコンテンツ流通を提案するものです。終了後参加者全員にアンケート調査が実施されました。

今回はレセプションとして、隅田川の屋形船クルージングディナーを開催しました。とくに海外からの参加者には大変好評で、有意義なひとときを過ごすことができました。

最後に、今回の意義について各委員長からの確認コメントがありましたが、この中で技術の進歩が早いために1年に1回では対応できなくなってきたことが指摘され、本会議をより頻繁に開催するよう提案がありました。全員で確認が行われ今後前向きに検討していくことで承認されました。

当協会より次回のヨーロッパ開催をIFPIに委ね、快諾されました。続いて富塚委員長から会議開催および運営の協力に対しお礼の挨拶があり、2日間の会議を無事終了しました。



国際レコード技術会議議長を努める富塚委員長

カラオケ対策委員会・その他

カラオケ対策委員会リポート

①「'99トーク＆コンサートツアーリポート」開催予定

本年度も、カラオケ対策委員会が展開中の「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の一環として、「'99トーク＆コンサートツアーリポート」を計3会場にて実施します。今般日程及び会場のみ決定しましたので、取り急ぎお知らせします。

・主催：カラオケ教室不法録音物対策委員会

・日程及び会場（決定）：

12月6日（月）「松山市民会館 中ホール」（500名）

16日（木）「宇都宮総合文化センターサブホール」（334名）

17日（金）静岡「メディアホール」（320名）

・タイトル（予定）：「歌・想い…そして出逢い」

・内容（予定）：

第1部…「カラオケ10年史」のスライド上映、作家と落語家によるトークなど。

第2部…歌唱指導＆歌手によるミニコンサートなど。

②「キー替えカラオケ入り商品」の発売状況

カラオケ対策委員会のこれまでのキャンペーン活動において、カラオケ教室関係者から根強い要望・意見として出されていた「キーチェンジ録音問題」を解決すべく、当協会会員各社から「キー替えカラオケ入り商品」が続々と発売され、ユーザーから好評を得ています。

今回は、日本コロムビア社、ビクターエンターテインメント社から、カラオケ教室でのレッスン用やカラオケ大会での伴奏用などを主目的として相次ぎ発売された「カラオケ専用カセットテープ」について、ご紹介します。

・日本コロムビア社「平成歌謡塾カラオケ・レッスン・カセット」

発売日：8/21～ 価格：税込1,260円

内 容：Side 1 ①オリジナル歌唱アーティストによるコメント

②市川塾長の歌唱指導

Side 2 ①オリジナルまたは一般カラオケ

②男声用カラオケ

③女声用カラオケ

※Side 1 ①コメントは、同社以外の楽曲を使用する場合収録されません。

・ビクターエンターテインメント社「カラオケ名人」

発売日：9/24～ 価格：税込1,000円

内 容：Side-A（1曲目）

①オリジナルキーメロ付カラオケ

②キー下げメロ付カラオケ

③キー下げメロなしカラオケ

Side-B（2曲目）

①オリジナルキーメロ付きカラオケ

②キー下げメロ付カラオケ

③キー下げメロなしカラオケ

IFPIアジア／太平洋地域理事会開催される

アジア／太平洋地域著作権・新技術フォーラムが行われた翌日の10月8日、第7回IFPIアジア／太平洋地域理事会が行われました。

この会議は、IFPI本部が招集する中央理事会が世界レベルでのレコード産業の問題を取り上げるのに対し、アジア／太平洋地域における問題を主なテーマとして意見・情報交換をし、必要に応じて議決、方針の採択等を行うものです。

この地域における当面の重要課題として、①WIPOの2つの条約批准のための法改正を各政府に働き掛けること、②SDMIへの参加を推進すること、③海賊対策強化のためにあらゆるレベルでのトレーニングを実施すること、④光ディスク工場の海賊版製造をコントロールするための法制度導入を推進すること、等が挙げられます。

当協会は、日本の楽曲の台湾製無断複製CD問題を取り上げ、各国のIFPI組織の協力を要請しました。

これらのCDは、日本に流入しているばかりではなく、日本の音楽文化開放が間近に迫った韓国への輸出、更に、香港・シンガポール・マレーシア等にも輸出され始めているため、大きな問題となっています。

この問題には、アジア地域におけるIFPIレベルでの情報交換、相互協力を通じて対応していくとのコンセンサスが得られました。

当協会新年会のお知らせ

平成12年のレコード協会新年会は、1月6日（木）午後3時30分から赤坂プリンスホテル「クリスタルパレス」にて行われます。開始時間、会場が例年とは変更になっております。

MP3音声圧縮について・その他

MP3など圧縮音声の音質表現について

最近のデジタル化の進展に伴って、音声をデジタル変換して簡便にオンライン上などで取り扱おうという風潮が横溢しつつあり、また新聞・雑誌等ではこのデジタル変換について、正確に報道されていない例が散見されます。

音声のデジタル変換・情報化に関して、アナログの情報をそのままデジタル情報化する場合と、その情報を圧縮して簡便化して活用する場合を考えられますが、音声の情報については、標記「MP3」に代表されるような圧縮技術を駆使して、情報を取り扱おうという傾向が強くなっています。

これらの技術を否定するものではありませんが、技術偏重の認識や報道が先行してしまい、肝心の情報の中身についての論議がおろそかにされているような感を受けます。

特に音声情報の音質に関する表現については、①「CD並」②「CDとの差はほとんど感じられない」③「CDとほぼ同質」④「CDに近い」⑤「CDとほぼ変わらない」等の音質表現を用いる方がありますが、これらの表現は一般の方々に誤解を与える恐れがあり、好ましくないと思われます。いま盛んに言われているのは圧縮技術は、元のCDから聞こえにくい（人の耳で識別しにくい）音をカットするなどしてデータ量を何分の一かに減らすものであり、技術的に言えば、上記①～⑤の表現は明らかに事実と相違しています。

アーティストやCD制作者にとってこれらの表現は、圧縮された音質で元のCDの音質を判断されることになり、耐え難い問題です。また一般消費者に対しては、これら圧縮音源をもって元のCDの音質であるかのような先入観を与えるものであり、多大なる誤解を生むだけでなく、一般消費者から元のCDの音質を楽しむ機会をも奪ってしまうことにもなりかねません。

従って、圧縮音声の場合は圧縮であることを明記し、表現として「CDの約10分の1のデータ量でそれなりの音質」等の適切な表現が望まれます。

不正商品対策協議会（不正協） 香港・韓国視察実施

当協会他全8団体で構成されている不正協では、ア

ジア地域における不正商品の流通実態、知的財産保護に係る法的環境の現状を調査する目的で、毎年海外視察を実施しております。今年度は、香港・韓国の2ヵ国を9月26日から10月2日までの7日間にわたり訪問し、不正商品の各国での販売実態並びに不正商品撲滅に対する公的機関等の取組みを確認する事が出来ました。詳細については、不正協の報告書をご覧ください。（お問合せは不正協事務局03-3542-4433まで）

まなびピア広島'99開催される

不正商品対策協議会は、10月7日から11日までの5日間、広島県立総合体育館の会場を中心に行われた「まなびピア広島'99」に出展参加しました。

今年のまなびピアは、今までにない主催県の積極的な取り組み姿勢が見られ、県全域を会場として、いろいろなイベントが行われました。

メイン会場となった総合体育館には、生涯学習をテーマとした各種学校・協会・企業の他、各県のブースが設けられ、期間中を通じて多くの来場者がありました。

その中でも、不正商品対策協議会のブースでは、知的所有権思想の普及・啓蒙を目的としたクイズ、抽選会、本物と偽物の比較展示等を行い、家族連れも含めて最も集客力がありました。期間中の来場者は約5,000人を数えました。

人権問題推進連絡会の研修会開催

同和問題推進連絡会は、人権問題推進連絡会へ会議名を名称変更して初めて「エイズの現状と差別・偏見について」と題した研修会を9月29日（水）に委員他25名が出席して開催しました。

講師にA A A（Act Against Aids）運営事務局事務局長代理の藤森英基氏を迎え、エイズの現状と偏見、職場での対応、差別について研修しました。特に現在の方法では輸血からの感染は防げないと衝撃的な話や、エイズウィルスは非常に弱いウィルスなので、大気中では生きられないため職場での感染はあり得ない等、認識を新たにしました。

プロ音楽録音賞ノミネート作品決定

第6回日本プロ音楽録音賞ノミネート作品決定

今年で6回目を迎えた日本プロ音楽録音賞の授賞式は「音の日」の12月6日（月）、東京・虎ノ門パストラルで行われます。

ノミネート作品は、各部門とも多数の応募作品の中から、ブラインドホールド形式の予備審査が行われ、下記が優秀作品授賞対象として選定されましたのでご紹介します。なお当日、下記作品の中から各部門毎に優秀作が発表され、担当のエンジニアが表彰されることになっています。

(○は審査対象曲、曲名の後のカッコはソフトのタイトル／以下順不同／敬称略)

部門1：パッケージ・メディア（クラシック・ジャズ）[応募数…16作品]

○コズミック・ハーモニー「チェロをめぐる日本の響き」より

エンジニア：鈴木 浩二（ソニー・ミュージックエンタテインメント）他／堤 剛（チェロ）他
ソニーレコード（SRCR-2291）

○ミケランジェロ'70「ラビリンス」より

エンジニア：内藤 哲也（ソニー・ミュージックエンタテインメント）他／小松 亮太（バンドネオン）他
ソニーレコード（SRCR-2405）

○Cutting the wave「Rendezvous 2」より

エンジニア：小林 敦（バップサウンドイン）他／福山 雅治 他BMGファンハウス（BVCS-27006）

○舞踏組曲「蜘蛛の糸」「芥川也寸志の芸術1管弦楽作品集」より

エンジニア：須賀 孝男（キングレコード）他／本名徹次指揮日本フィルハーモニー交響楽団
キングレコード（KICC-246）

○火の舞「怒濤万里」より

エンジニア：服部 文雄（ピクターエンタテインメント）他／鬼太鼓座
ピクターエンタテインメント（VICG-60201）

部門2：パッケージメディア（ポップス・ロック）[応募数…22作品]

○Always I Need「広瀬香美 The Best Love Winters」より

エンジニア：山内 隆義（バップサウンドイン）他／広瀬 香美 ピクターエンタテインメント（VICL-60305）

○海を見ていた午後「翼をくださいJunko Yamamoto The Best」より

エンジニア：奥村 誠二（東芝EMI）他／山本 潤子 東芝EMI（TOCT-24034）

○蝶人形の館'99「聖飢魔II 1999BLACK LIST」より

エンジニア：内田 孝弘（ピクターエンタテインメント）他／聖飢魔II BMGファンハウス（BVCR-11010）

○“D”「Rain & Shine」より

エンジニア：秋元 秀之（ピクターエンタテインメント）他／飯島 真理 イーストウエストジャパン（AMCM-4426）

○なあなあ

エンジニア：三浦 瑞生（ミキサーズ・ラボ）他／サーフィス マーキュリー・ミュージックエンタテインメント（PHDL-1196）

○ささやかれた夢の話「ささやかれた夢の話」より

エンジニア：堀内 寿哉（ソニー・ミュージックエンタテインメント）／比屋定 篤子 ソニー・ミュージックエンタテインメント（AICT-1042）

部門3：放送 [応募数…26作品]

○平和の太陽「オーガストインヒロシマ99グランドコンサート『TOGETHER』」より

エンジニア：太田 牧人（NHK松江）他／広島交響楽団他 NHK 1999/08/21 BSTV放送

○プーランク「カルメル会修道女の対話」（芸術劇場）より

エンジニア：田丸 順（NHK中継制作）他／小澤征爾指揮 サイトウキネン・オーケストラ他 NHK 1999/07/18地上波TV放送

○ドボルザーク「交響曲第9番」『名手たちのオーケストラ99』より

エンジニア：西田 英昭（朝日放送）他／大友直人指揮 ジャパンヴィルトージ・シンフォニー・オーケストラ 朝日放送1999/01/22 地上波TV放送

○TRUE GATE「アジア・ミュージックEXPO'98」より

エンジニア：中瀬 武（名古屋テレビ映像）他／FAVORITE BLUE 名古屋TV 1998/12/29 地上波TV放送

○ショーマン「交響曲第4番」『ベスト・オブ・クラシック』より

エンジニア：新村亨（NHK制作技術センター）他／ウォルフガング・サバリッシュ指揮NHK交響楽団 1998/11/05 NHKFM放送

なお、12月6日の授賞式にはノミネート作品に関わるエンジニアはもとより多くの録音エンジニアの方々にご参加頂き交流の場として積極的にご活用いただきますようお願いします。

HIT CHART DATA

1999年9月度(99年8月21日～99年9月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	ここではない、どこかへ	GLAY	1999.08.25	PC
2.	LOVEマシーン	モーニング娘。	1999.09.09	SME
3.	SOMETHING 'BOUT THE KISS	安室奈美恵	1999.09.01	AVT
4.	AS TIME GOES BY	hiro	1999.08.18	TF
5.	still growin' up	globe	1999.09.08	AVT
6.	銀河の誓い	MAX	1999.08.25	AVT
7.	Everyday Everywhere	太陽とシスコムーン	1999.08.25	SME
■洋楽シングル BEST7				
1.	ライフ	DES'REE	1998.06.10	SME
2.	ブルー・アイズ・ブルー	エリック・クラプトン	1999.09.08	WJ
3.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	1997.10.25	WJ
4.	ビューティフル・ストレンジャー	マドンナ	1999.07.14	WJ
5.	Eyes On Me featured in Final Fantasy VII	フェイ・ウォン	1999.02.24	TO
6.	ザ・デイ・ザ・ワールド・ウェント・アウェイ	ナイン・インチ・ネイルズ	1999.08.18	UV
7.	スーパーファンタスティック	MR. BIG	1999.09.15	EW
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	ZARD BEST~Request Memorial~	ZARD	1999.09.15	BG
2.	TERRA2001	the brilliant green	1999.09.08	SME
3.	A	浜崎あゆみ	1999.08.11	AVT
4.	1/42	Mr. Children	1999.09.08	TF
5.	GOLDEN BEST	井上陽水	1999.07.28	FL
6.	SOMETHING 'BOUT THE KISS(12セグ)	安室奈美恵	1999.09.01	AVT
7.	GARDEN	Sugar Soul feat. Kenji	1999.09.08	WJ
■クラシックアルバム BEST7				
1.	奇蹟のカンパネラ	フジ子・ヘミング	1999.08.25	V
2.	クラシカル・エバー1	3大テナー、マリア・カラス他	1999.06.23	TO
3.	ラカトシュ2～ライヴ・フロム・ブダペスト	ラカトシュ&アンサンブル	1999.08.22	UM
4.	ベートーヴェン：交響曲第6番《田園》	小澤征爾指揮/サイトウ・キネン・オーケストラ	1999.08.22	MME
5.	ヨーヨー・マ・プレイス・ピアソラ	ヨーヨー・マ	1997.10.29	SME
6.	ピュア・パッション	ホセ・カラーラス	1999.08.25	WJ
7.	ヨーヨー・マ ベスト・アルバム	ヨーヨー・マ	1998.10.01	SME
■洋楽アルバム BEST7				
1.	イエロー・サブマリン～ソングトラック	ザ・ビートルズ	1999.09.13	TO
2.	スーパー・ロビート Vol.100 ANNIVERSARY SPECIAL REQUEST COUNTDOWN 100!!	V.A.	1999.08.04	AVT
3.	ダンスマニア・スピード3	デジャヴー、キャブテン・ジャック他	1999.09.08	TO
4.	リッキー・マーティン～ヒア・アイ・アム	リッキー・マーティン	1999.06.19	SME
5.	Millennium	バックストリート・ボーイズ	1999.04.28	AVT
6.	ゲット・オーヴァー・イット	MR. BIG	1999.09.15	EW
7.	FOREVER	パフ・ダディ	1999.08.28	BMG

※AL：アルファミュージック／AO：アメラ・オータウン・レコード／AR：アンティノスレコード／AVT：エイベックス／BG：ビーグラムレコード／BM：ルームスレコード／BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント／BMG：BMGファンハウス／C：日本コロムビア／CA：カナリー企画／CR：日本クラウン／CT：カッティング・エッジ／EP：ゼティマ／EW：イーストウエスト・ジャパン／FH：ファンハウス／FL：フォーライフレコード／JE：ジャニーズ・エンタテイメント／JP：J-FRIENDS P./K：キングレコード／KT：キティエンタープライズ／ME：メルダック／MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント／PC：ポニーキャニオン／PG：ポリグラム／PI：パイオニアLDC／PO：ポリドール／PS：ポリスター／PZ：ピザ・オブ・デス・レコード／QT：バルコ／RO：ロックイットレコード／SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント／SN：SEHNA & CO.／TA：ニュートララス／TDK：TDKコア／TE：ティチク／TF：トイズ・ファクトリー／TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ／TO：東芝EMI／UM：ユニバーサルミュージック／UV：ユニバーサルピクター／V：ピクターエンタテインメント／VAP：バップ／VF：ヴエルファーレ／WJ：ワーナーミュージック・ジャパン／XR：ゼロ・コーポレーション／ZA：ザインレコード

GOLD ALBUM他 認定作品 1999年9月度(99年8月21日~99年9月20日)

■アルバム(21作品)

【邦 楽】

●8ミリオン

First Love／宇多田ヒカル／1999.03.10 (TO)

●クワドロップル・プラチナ

ZARD BEST～Request Memorial～／ZARD／
1999.09.15 (BG)

●トリプル・プラチナ

A／浜崎あゆみ／1999.08.11 (AVT)

●ミリオン

GOLDEN BEST／井上陽水／1999.07.28 (FL)

●ダブル・プラチナ

音楽／19 (ジューグ)／1999.07.23 (V)

●プラチナ

TERRA2001／the brilliant green／1999.09.08
(SME)

1/42／Mr.Children／1999.09.08 (TF)

●ゴールド

THE GREAT SKELETON'S MUSIC GUIDE
BOOK／TRICERATOPS／1998.12.02 (SME)
MIND YOUR STEP／SNAIL RAMP／
1999.07.02 (K)

NO DOUBT／CHAGE&ASKA／1999.08.25
(TO)

SOMETHING 'BOUT THE KISS(12センチ)／安
室奈美恵／1999.09.01 (AVT)

GARDEN／Sugar Soul feat. Kenji／1999.09.08
(WJ)

【洋 楽】

●ミリオン

ミスエデュケーション／ローリン・ヒル／
1998.08.19 (SME)

●クワドロップル・プラチナ

リッキー・マーティン～ヒア・アイ・アム／リッキ
ー・マーティン／1999.06.19 (SME)

●ダブル・プラチナ

SUPER EUROBEAT Vol.100／V.A.／

1999.08.04 (AVT)

●プラチナ

Mary／メアリー・J・ブライジ／1999.08.09
(UV)

●ゴールド

Classical ever! 1／3大テナー、マリア・カラス
他／1999.06.23 (TO)

FOREVER／パフ・ダディ／1999.08.28
(BMG)

ダンスマニア・スピード3／デジャヴー他／
1999.09.08 (TO)

イエロー・サブマリン／ザ・ビートルズ／
1999.09.13 (TO)

ゲット・オーヴァー・イット／MR.BIG／
1999.09.15 (EW)

■シングル(9作品)

【邦 楽】

●ミリオン

ここではない、どこかへ／GLAY／1999.08.25
(PC)

●プラチナ

あの紙ヒコーキくもり空わって／19 (ジュー
ク)／1999.03.20 (V)

Sunny Day Sunday／センチメンタル・バス／
1999.08.04 (SME)

LOVEマシーン／モーニング娘。／1999.09.09
(EP)

●ゴールド

星のかけらを探しに行こう～Again／福耳／
1999.07.14 (KT)

愛の♡ 愛の星／the brilliant green／
1999.08.18 (SME)

銀河の誓い／MAX／1999.08.25 (AVT)

SOMETHING 'BOUT THE KISS／安室奈美恵／
1999.09.01 (AVT)

still growin' up／globe／1999.09.08 (AVT)

世界の話題

フィリピンで海賊版の大規模手入れ

PARI（フィリピン・レコード協会）と南東アジアの地域執行事務所は、フィリピンにあるメトロマニラの地下CD工場の手入れを行った結果、合計5万枚の海賊CDと数百個のスタンパーを押収し、所有者が倉庫に隠した1ラインのCD工場の封印と、CDの原料となるポリカーボネイトを合計で18,200キロ差押えました。

地域執行事務所による捜査では、香港系中国人が中国からの不法入国者を正規労働者として雇い、操業していた工場であることが明らかになりました。

この捜査によって、香港とマカオにある設備で、マニラ工場のためにマスタリング・サービスを提供していたことも確認されました。

その工場では、多くの音楽海賊版に加えて、映画とCD-ROMも生産していました。

現在マスタリングを請け負っていた工場に対する措置を執るための証拠入手に向けて調査が引き続き行われています。この手入れは現地のニュースとして注目されました。

（IFPI執行事務所99/10）

英国、過去最大のブートレッグCD-R手入れ

警察とBPI（英レコード協会）の共同作業により、リトルハンプトン地域にある個人住宅2カ所に対し家宅捜索令状が発行されました。

この手入れを通じて男性2名が逮捕され、装置が完備された「工場」でCD-Rに複製されたブートレッグ・レコードが発見されました。

本件は、イギリス初の家内工場で作成されたブートレッグの事例です。従来は、イギリスよりもCD工場に対する規制が緩いところ、あるいは規制のないところで作成され、輸入された製品でした。

9月24日のリトルハンプトンでの成果は数千枚の違法複製CD-R、コンピュータ、CD-Rの生ディスク、週に数千枚ものコピーが可能CD複製機器でした。

会議メモ（主なもの）

（10月1日～10月30日）

- 10・1 MM-WG会議
- 10・4 ビデオプロジェクト
- 10・5 日本GD大賞実行委員会ディーラーWG
視聴実験プロジェクト
- 10・6 データベースプロジェクト・
デジタル音楽情報委員会合同会議

- 10・8 DVDオーディオ表示検討サブWG
- 10・12 レコード制作基準倫理委員会
法制委員会WG
- 10・14 営業部会
- 10・15 音楽文化懇談会事務局間会議
法制委員会放送WG
視聴実験プロジェクト
- 10・18 日本GD大賞マスコミWG
業界構造改革特別委員会
- 10・19 インターネット部会
- 10・20 業務委員会
洋楽宣伝専門部会
- 10・21 消費者専門部会
労政部会
- 10・22 シングル検討プロジェクト
需要拡大委員会
MM-WG
- 10・25 デジタル音楽情報委員会
CCD権利保護研究会
- 10・26 三団体連絡協議会
DVDオーディオ表示検討WG
法制委員会
- 10・28 DVDビデオカラオケ・サブWG
- 10・29 理事会
ISRC専門部会勉強会

この手入れによって、高速複製機器により個人でも違法CDを製造できる懸念が明確になりました。BPIの海賊対策部長は「かつて違法CDの大量生産は、海外の工場によるものに限られていた。我々の今後の懸念は、個人の住宅で大規模な海賊版製造が可能になったことである」と述べました。

（BPIニュース 10/6）

ネット海賊法、通過（ワシントン）

保護の対象である商標やサービスマークは、10月13日に通過した法律で保護されます。商標のサイバー海賊防止法は、商標やサービスマーク所有者が「悪意を持って」同一の或いは酷似している商標を登録したり、使用したりした者を告訴できるように商標法が改訂されました。しかし、法案はサイバースペースでの個人名の使用については扱っていません。

投機家は、ドメインネームを本来の所有者に売り戻すために、多くのショーカー・ビジネス関連個人名を登録しています。「名前の濫用を法廷で争うのは困難であり、同様の手口には本法律では対抗できない」と内部関係者は述べています。例えば、フェイマス・アモ・クッキーは商標で保護されても、トーリ・エイモスは保護されません。スポーツマンは、インターネット上の名称を使用する権利を取り扱う条項は、本質的な基準をクリアする上で困難を引き起こすと述べました。

法案は「サイトの出所、スポンサー、関連会社、保証等の類似によって混乱を起こし、ビジネス上の対価を得るか或いは名誉を毀損する目的で、消費者を本来のマーク所有者のオンラインサイトから、アクセス可能な状態にある商標の善意を傷つけるドメインネームのサイトに導こうとする意思を証拠として、裁判所が悪意を追求することが可能である」ことを示しています。

（ビルボード 99/10/23）



レコード生産実績

1999年9月度(99年9月1日～99年9月30日)

社団法人 日本レコード協会

1999年9月 レコード生産実績(I)

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

			9月 実 繢						1999年(1月～9月)累計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
C	8セント	邦	4,636	12	38	2,216	5	28	74,208	23	60	46,197	11	60
		洋	62	0	75	10	0	19	544	0	61	310	0	61
		計	4,698	13	38	2,226	5	28	74,753	23	60	46,507	11	60
D	12セント	邦	23,874	64	140	33,073	69	111	179,687	55	122	273,302	65	107
		洋	7,107	19	88	10,694	22	89	57,251	18	90	84,862	20	92
		計	30,981	83	123	43,767	92	105	236,938	72	113	358,164	86	103
	小計	邦	28,510	76	98	35,289	74	94	253,895	78	94	319,498	76	96
		洋	7,169	19	88	10,704	22	89	57,796	18	90	85,172	20	92
		計	35,679	95	96	45,993	96	92	311,691	95	93	404,671	97	95
アナログディスク	邦	462	1	858		664	1	942	1,907	1	370	2,182	1	346
	洋	37	0	317		37	0	294	350	0	139	473	0	129
	計	499	1	763		700	1	845	2,258	1	294	2,655	1	266
合 計	邦	28,972	77	99	35,953	75	95	255,802	78	94	321,681	77	97	
	洋	7,205	19	88	10,740	22	89	58,146	18	90	85,645	20	92	
	計	36,178	97	97	46,693	98	94	313,949	96	94	407,326	97	96	
カセットテープ	邦	1,294	3	77	1,049	2	72	12,844	4	82	10,473	3	83	
	洋	4	0	12	6	0	19	76	0	72	72	0	62	
	計	1,298	3	75	1,055	2	70	12,920	4	82	10,545	3	83	
総合計	邦	30,266	81	98	37,002	77	94	268,646	82	94	332,154	79	96	
	洋	7,210	19	88	10,746	23	89	58,222	18	90	85,717	21	92	
	計	37,476	100	96	47,748	100	93	326,868	100	93	417,871	100	95	

表2. ビデオレコード

			9月 実 繢						1999年(1月～9月)累計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
ディスク		1,012	35	110	2,459	26	107	7,536	32	96	17,815	23	87	
テープ		1,842	65	109	7,052	74	93	16,373	68	97	58,277	77	92	
合 計		2,853	100	109	9,511	100	96	23,909	100	97	76,091	100	91	

表3. オーディオ／ビデオ合計

			9月 実 繢						1999年(1月～9月)累計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
オーディオ		37,476	93	96	47,748	83	93	326,868	93	93	417,871	85	95	
ビデオ		2,853	7	109	9,511	17	96	23,909	7	97	76,091	15	91	
合 計		40,329	100	97	57,259	100	94	350,778	100	93	493,962	100	95	

＜参考＞表4. 複合型CD(CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

			9月 実 繢						1999年(1月～9月)累計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
邦盤		13,128	100	104	1,861	100	86	111,652	100	99	16,376	100	87	
洋盤		0	0	0	0	0	0	6	0	15	16	0	12	
合 計		13,128	100	104	1,861	100	86	111,658	100	99	16,392	100	87	

備考 1. 本年実績は、会員会社「21社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

統計資料

(152)

CDのジャンル別新譜数の推移

本号は、1年間に発売されたコンパクトディスクの新譜数の推移を紹介します。

表1 12センチCD

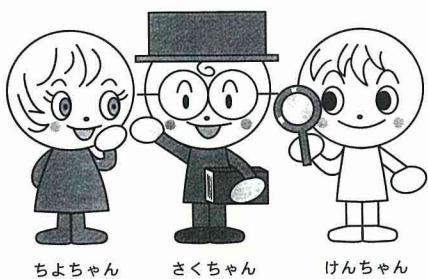
種類		84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	
邦曲	歌謡曲	演歌	—	151	242	229	355	576	655	571	492	521	690	670	526	498	460
		ポップス歌謡曲	—	355	445	584	508	616	603	818	711	693	695	658	894	646	803
		ニューミュージック	—	681	929	1,170	1,143	1,323	1,629	1,932	2,094	2,088	2,538	2,252	1,951	2,072	2,340
	小計	450	1,187	1,616	1,983	2,006	2,515	2,887	3,321	3,297	3,302	3,923	3,580	3,371	3,216	3,603	
盤	軽音楽	90	163	278	386	329	395	567	574	601	533	545	492	561	462	346	
	民謡・純邦楽	14	32	67	54	78	128	302	172	103	231	140	131	185	255	290	
	教育・教材・童謡・童話	14	73	161	213	179	345	479	380	422	295	216	274	285	261	239	
	アニメーション	—	67	149	212	175	259	327	471	552	578	642	721	934	800	844	
	クラシック	14	44	93	177	314	273	345	424	481	470	384	364	297	358	371	
	カラオケ	351	73	127	166	92	107	172	243	133	96	50	38	29	6	0	
	その他	41	39	41	53	80	195	208	157	138	239	218	324	227	284	182	
邦盤計		974	1,678	2,532	3,244	3,253	4,217	5,287	5,742	5,727	5,744	6,118	5,924	5,889	5,642	5,875	
(—)		(172)	(151)	(128)	(100)	(130)	(125)	(109)	(100)	(100)	(107)	(97)	(99)	(96)	(104)		
洋盤	ボビュラーライ	ロック・ディスコ	161	308	821	1,342	1,608	2,356	2,837	3,498	2,827	3,212	2,917	3,257	3,484	3,849	4,054
		ジャズ・フュージョン	146	337	745	1,090	1,245	1,288	1,300	1,759	1,510	1,524	1,372	1,074	1,187	1,292	1,455
		ポピュラーソング	143	162	257	470	337	553	689	747	775	825	741	871	692	850	856
		映画音楽	15	58	67	114	90	110	127	169	202	256	237	241	182	211	233
		その他	121	93	155	120	238	248	200	178	271	162	261	227	261	166	291
	小計	586	958	2,045	3,136	3,518	4,555	5,153	6,351	5,585	5,979	5,528	5,670	5,806	6,368	6,889	
	邦盤計	537	1,910	2,141	2,392	2,281	3,366	3,761	4,352	3,803	3,973	3,879	4,128	5,056	3,906	2,966	
洋盤	その他	0	0	1	0	1	17	2	6	20	1	2	0	5	9	2	
	洋盤計	1,123	2,868	4,187	5,528	5,800	7,938	8,916	10,709	9,408	9,953	9,409	9,798	10,867	10,283	9,857	
	合計	2,097	4,546	6,719	8,772	9,053	12,155	14,203	16,451	15,135	15,697	15,527	15,722	16,756	15,925	15,732	
(—)		(217)	(148)	(131)	(103)	(134)	(117)	(116)	(92)	(104)	(99)	(101)	(107)	(95)	(99)		

(注) 84年は歌謡曲の内訳及びアニメーションの統計はありません。()内は対前年比。

表2 8センチCD

種類		88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	
邦曲	歌謡曲	演歌	136	241	420	669	495	467	651	461	459	515	667
		ポップス歌謡曲	522	543	520	616	583	490	487	498	728	633	634
		ニューミュージック	790	801	655	740	874	1,115	1,104	1,146	977	900	1,000
	小計	1,448	1,585	1,595	2,025	1,952	2,072	2,242	2,105	2,164	2,048	2,301	
盤	軽音楽	24	34	16	10	19	27	9	10	12	2	7	
	民謡・純邦楽	2	5	104	141	24	34	23	59	31	32	21	
	教育・教材・童謡・童話	34	75	50	12	12	8	23	25	16	31	21	
	アニメーション	37	85	69	80	85	84	124	171	182	195	202	
	クラシック	56	19	11	2	3	9	2	0	2	1	2	
	カラオケ	102	16	10	10	3	0	0	0	0	0	0	
	その他	15	74	6	49	30	5	37	3	6	13	7	
邦盤計		1,718	1,893	1,861	2,329	2,128	2,239	2,460	2,373	2,413	2,322	2,561	
(—)		(110)	(98)	(125)	(91)	(105)	(110)	(96)	(102)	(96)	(110)		
洋盤	ボビュラーライ	ロック・ディスコ	520	695	518	443	288	196	188	132	65	47	32
		ジャズ・フュージョン	57	30	25	18	4	9	14	3	12	2	2
		ポピュラーソング	49	90	88	88	73	106	91	72	46	32	7
		映画音楽	6	13	12	4	8	4	2	2	1	0	0
		その他	9	4	11	5	1	2	6	9	2	0	0
	小計	641	832	654	558	374	317	301	218	126	81	41	
	邦盤計	109	55	34	46	0	0	0	0	1	28	2	
洋盤	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	洋盤計	750	887	688	604	374	317	301	219	127	109	44	
	合計	2,468	2,780	2,549	2,933	2,502	2,556	2,761	2,592	2,540	2,431	2,605	
(—)		(113)	(92)	(115)	(85)	(102)	(108)	(94)	(98)	(96)	(107)		

備考:()内は対前年比。



著作権法100年

copyright law centennial anniversary

RIAJ
Recording Industry Association of Japan 1999年11月号

発行人 池口 頌夫
編集人 木村 三郎
発行日 1999年11月10日
発 行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL.03-3541-4411 (代)
FAX.03-3541-4460 (代)
URL:<http://www.jmusic.ne.jp/>